

【参加上の注意】・・・選手に印刷・配布し、読み合わせを実施した上で参加してください。

■大会プログラムについて

- ・大会プログラムは当日配布します。
- 【参加上の注意】については、事前に各校で読み合わせをしてください。

■入場制限《生徒》

- 大会会場への生徒の入場は、以下のようにお願いします。
- ・学校対抗のチームは7名＋帯同審判員1名の最大8名とする。
 - ・出場校の部員
 - ・東信地区の補助員を依頼されている学校の生徒

■入場制限《引率》

・・・入場口で、首から下げる「引率者証」をお渡します。

- 大会会場への引率の入場は、以下のようにお願いします。
- ・3日間とも高体連登録をした顧問及び外部指導者のみ入場可能とします。保護者の入場は不可。
- ※ 不都合な点もありますが、今回の大会は原則無観客試合です。ご理解の上ご参加ください。

■体育館への入場方法

- ・チームごと会場前に集合し、全員揃ったチームから入場してください。
 - ・入場時に検温と健康調査申告書(別紙…団体用)の回収を行います。
- 大会前1週間以内での体調不良があった場合は入場時に検温後、面談をさせていただきます。
- 3日間とも同じことを実施します。
- ・引率者へは、入場口で首から下げる「引率者証」をお渡します。お帰りの際に、出口でお戻し下さい。

■受付について

- ・入場後、顧問の先生は、本部で参加確認の受付をしてください。
- ・「棄権」がある場合は同時に申し出てください。
- ・「学校対抗の選手変更」がある場合は、別紙【選手変更届】を提出してください。

■朝の練習について

- ・タイムテーブルを参照してください。
- ・放送の指示に従い練習を行う。各校で、コートに入る選手を事前に決めておいて下さい。

■競技方法

- ・現行の日本卓球ルールによる。今回の大会はゲームごとのチェンジエンドを行います。
 - ・試合球は、ニッタク・VICTAS・バタフライから選択する。
- 選手が互いに異なったメーカーのボールを選択した場合はトスによって試合球を決定する。
- ・全種目5ゲームスマッチで行う。
 - ・試合前のラケット交換は行わず、ラケット・ラバーを相手に見せるのみとする。
 - ・監督は、役職者証をつけてベンチにお入り下さい。
 - ・【学校対抗】は、①S②S③W④S⑤Sの4単1複の3点先取制。
- ただし、①②のシングルスに出る選手で③のダブルスは組めません。
- ・学校対抗のベンチは、番号の若い方が本部に向かって左側としてください。
 - ・学校対抗のメンバー変更は、受付時に提出されたものをフロアー入口に掲示します。
 - ・オーダー提出・・・初戦は指定の用紙1枚に記入し、コート整列時に審判員に渡して下さい。
- 以降はオーダー交換所に提出してください。
- ・タイムアウト制は、学校対抗の準決勝、決勝、3位決定戦のみ実施する。

■試合後の消毒作業手順について

- ① 審判は試合終了後、卓球台の表面をペーパータオルで乾拭きして下さい。
- ② 消毒液をペーパータオルに吹きかけ、ボールを消毒してください。
- ③ タオルは卓球台にかけず、配布のビニール袋に入れて、かごを使用してください。
- ④ ベンチを使用した後はベンチも消毒をしてください。

■進行について

- ・今回集合所等での密を避けるために「タイムテーブル」を利用した大会運営を行います。記載されている開始時間は、目安です。

各チーム・選手は、前の試合を確認しながら、終わり次第コートに入場してください。

- ・コート変更、時間変更をする場合、放送で指示します。
- ・試合終了後、勝った選手・勝ったチームは、対戦カードを進行席に届けて下さい。次の対戦カードを受け取り、コートに持って行って下さい。
- ・審判は、消毒作業を行う。

■審判について

- ・個人戦は、東信補助員で行います。
- ・学校対抗については対戦校より1名ずつ審判を出して相互審判をお願いします。詳細は監督会議にて説明します。手袋を着用し、スコアボードを利用する。(手袋を持参してください。)(帯同審判員を1名認めます・・・ただしベンチでの応援はできません)

■競技上の注意

① 用具、服装等について

- ・ラバーは、ラケット本体の外周いっぱいまで、しかも外にはみ出ないように覆うものとする。粒高ラバーの粒の欠損については認められない。
- ・ユニフォームはJTTAの公認マークが付いたものを着用する。対戦相手と同一のユニフォームであってはならない。同一の場合は主審がトスによってどちらが換えるかを決定する。各選手は色・柄の異なった2種類以上のユニフォームを用意する。
- ・学校対抗は同一のユニフォームを着用するものとする。ただしシューズ、スカートについては同系色のものであれば着用できる。

② 競技中の確認事項

- ・個人戦のベンチアドバイザーは、チームの監督または学校長と契約を結んだ外部指導者または選手とする。試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートに復帰できない。学校対抗のベンチを離れて、個人戦のベンチに行くことは可とする。
- ・試合前の練習は片面3本または1分以内とする。
- ・正規サービス(16cm以上のトス等)、促進ルールについて正しく理解すること。
*促進ルール:ゲーム開始後10分を経過しても終了しない場合に適用。ただし、双方の競技者または組のポイントの和が18ポイント以上の場合、促進ルールは適用されない。
- ・ゲーム間の休憩、アドバイスは1分以内とする。
- ・個人戦の抗議は、競技者のみが行うことができる。団体戦での抗議は、チームの監督のみが行うことができる。
- ・競技者、監督、アドバイザーは相手競技者に対し不当な影響を与え、観客に不快感を与え、またはそのゲームの評判を落とすような仕草や態度を慎まなければならない。
- ・応援については拍手のみとする。

③ 遅延行為・5秒ルールについて

- ・競技は1マッチをとおして、継続的でなければならない。次のような場合は遅延行為とみなす。(なかなか球拾いに行かない、帰ってこない。プレーの再開が遅い。)
- ・テーブルについてからプレー再開までの時間は、5秒を目安とする(5秒ルール)。

■新型コロナウイルス感染症対策関連の注意事項

1. 大会参加にあたって

(1)大会当日は「体調管理チェックシート」を記入し、受付に提出して下さい。

(表紙は3日間とも、体調管理シートは試合終了日)

▲学級・学年・学校臨時休業期間中の特例措置

- 1 生徒及び教職員が陽性者となった場合、療養期間の大会参加を禁止とする。
- 2 濃厚接触者(相当者)は、外出自粛期間の大会参加を禁止とする。
- 3 濃厚接触者(相当者以外の場合)
 - 1) 特例措置として、抗原定性検査を実施し陰性が認められた場合のみ大会参加を可能とする。
ただし、原則として費用については検査を実施する生徒の負担とする。
 - 2) 抗原定性検査は公式大会等の前日又は当日に原則として生徒の家庭等において実施し、陰性であることを学校へ報告する。学校は、その結果について大会本部へ連絡をする。
(様式1検査結果報告書)
 - 3) 家庭等において実施できない場合は、会場またはその周辺の閉鎖された空間で検査を実施することができる。

(2)各自でマスクを持参し、試合時・練習時以外はマスクを着用する。

(3)こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒をする。

(4)大きな声での会話、応援等はしない。

(5)感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示には従う。

2. 競技中について

(1)競技中の大声は、飛沫防止のため避ける。

(2)プレイヤー以外は、ボールに触れないようにする。

(3)卓球台の上で手を拭いたり、シューズの裏等を手で触れない。

(4)試合前後の握手は行わない。

3. 会場使用上の注意

(1)観覧席は各校指定の場所(会場図参照)に、密にならないように間隔を空けて座る。

また、立って観戦はせず、手すり等には触らない。

(2)アリーナの入口と出口は指示された動線で移動する。

(3)貴重品、財布等の管理は自己で管理を徹底する。または、各校の顧問が管理する。

(4)ゴミの始末は各校で責任をもって、放置しない、汚さない等、全て持ち帰る。

(5)忘れ物は感染拡大防止対策のため、保管せず処分させていただきます。

(6)会場準備・片付け、審判を行う際は手袋を着用すること。

■その他

- ・撮影動画等SNSへの公開は他校選手の肖像権の関係でトラブルになる可能性があります。
許可なく公開をしないでください。